

回想法・劇・12月号

平成30年11月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail: pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
hp: www.piakaiso.sakura.ne.jp/

「慣れない」という小さな抵抗

慣らされるとどうなるかな？

3人の子育て中、我が家は長い坂道の上に立つ3階建ての社宅の3階に住んでいました。自転車の前と後ろに子供を乗せ幼稚園の送り迎えや買い物もこなしていた。確かに、今よりは若くした体力もあったから出来たとおもう。でも、訳あって車の免許を取ってから世界が変わってしまいました。子供が歩いて通う学校のPTAの会合にも車で行くようになってしまい、知らぬ間に車に慣らされてしまいました。これではいけないと、最近は自転車や徒歩で出かけるようになりました。徒歩では、車では目に留まらない花や蝶や鳥に出会います。春には花を付けていたどんぐりが今は道端に沢山落ちています。四季折々の風景を楽しみながら時には寄り道し、知らない方とおしゃべりしたりしています。便利にならされるとついつい便利な物に頼ってしまいます。便利だからと買った小物も結構あり、使わなくなったものを見てこれではいけないと。そこで、これは便利と買う前に、本当に要るの？と一呼吸置き考



えるようにしています。

幸せの形は無限にある

夫が48歳の時脳動脈瘤の手術をし高次脳機能障害・失語症という障害者になりました。昨日まで何の問題もなく会話が出来たのに、今日は会話が出来ません。何を聞いてもトンチンカンな返事しか返って来ないのです。本人も、家族も戸惑うばかりでした。でも、夫が障がい者になったことで、夫がいないのが当たり前の我が家の食卓にいつも夫がいます。かみ合わない会話でも「お父さんは障害者だから」と、子供たちも笑いながら夫と話をしています。食後に子供たちとゲームに夢中になったりと、今までの我が家では考えられないことが沢山起こりました。

確かに、夫が障がい者になって今まで出来ていたことが何もかも出来なくなり、本人も家族もこんなにも不便になるのかと障害になったことを恨んだこともありましたが、でも、障害者にならなかつたら会うことのなかった多くの人たちに出会えたことは私の大きな財産になりました。家族に障害者と健常者の両方の世界を体験させてくれた夫に感謝しています。

12月の予定

12月 4日 (火)	うたごえ広場	2時～4時	ショッピングセンターリブラ1階
12月13日 (木)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
12月15日 (土)～23日 (月)	写真展	10時30分～16時	リブラ1階
12月19日 (水)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
12月21日 (金)	認知症家族会	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
12月23日 (日)	映画鑑賞会	10時30分～12時30分	リブラ2階 元映画館

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708 担当 赤嶺